

ノーベル平和賞 受賞を祝い集い

18日 すわっチャオで



来場を呼び掛ける「核兵器禁止条約の署名
・批准を求める諏訪市民の会」のメンバー

川島さんは元高校教員で、長田の伝記『原爆の子』の父 長田新を2014年に出版。長田が初代会長となった「日本子どもを守る会」の副会長も務めた。当日は「ノーベル平和賞を祝う（長田新に学ぶつつ）」と題して講話する。講演に先立ち、「原爆の子」の朗読と平和を願う出席者参加型の合唱を実施。講演後は参加者有志に平和への思いを語

諏訪市の有志でつくる「核兵器禁止条約の署名・批准を求める諏訪市民の会」は18日午後1時30分から、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞を記念し、「ノーベル平和賞受賞を祝う集い」を市駅前交流テラスすわっチャオで開く。茅野市出身の教育学者で広島原爆を体験した子どもの作文集「原爆の子―広島少女のうったえ」編者の長田新（1887～1961年）に関する著書がある川島弘さん、辰野町が講演する。（山本雄太）

核兵器禁止条約の署名・批准を求める諏訪市民の会

「原爆の子」長田新に学ぶ講演も

つてもらう。同イベントは、長年活動してきた被爆者らに感謝し、功績が認められたことを祝うとともに、平和について改めて考える機会にしようと企画した。代表の宮坂茂雄さん（75）は「被爆者の皆さんは高齢化も進む中で戦ってきて、世界の世論を動かした。感謝しかない」とし、「ぜひ多くの方、特に若い人に来てもらい、平和について考えてほしい」と呼び掛けている。

入場無料。事前申し込み不要。問い合わせは宮坂さん（電話0266・52・0869）へ。